提出期限:令和7年3月21日(金)

令和7年3月12日

## 山形大学「つなぐちから。」 社会共創活動推進プロジェクト 実施報告書

報告者名	小幡 圭祐						
団体名および構成員 ※団体で活動を行った場合のみ記載 (欄が足りない場合は行を追加して記入して ください。)	団体名						
	氏名	所属					
活動名	旧済生館本館のバーチャル見学動画の作成						
連携して活動を行った プラットフォーム加盟機関名	山形市						
活動報告	《活動内容》 旧済生館本館は、1878年に山形県立病院として建設された建物で、1966年に国の重要文化財に指定された。現在は山形市郷土館として使用されているが、3・4階部分は建築保存の観点から通常非公開となっている。そこで、本プロジェクトでは、非公開部分を全天球カメラで撮影し、バーチャル見学が常時可能な状況を構築した。 具体的には、山形大学附属博物館が所有している全天球カメラを活用して、旧済生館本館の3・4階部分の360度動画とバーチャルツアーを作成した。完成したコンテンツを用いて「ななはく!」をはじめとするイベントにおいてバーチャル見学会を実施した。本プロジェクトで購入したVRゴーグルは山形市に寄贈し、今後バーチャル見学が常時できる体制を構築する予定である。 《実施した効果》 旧済生館本館の非公開部分は年に1回特別公開を実施しているが、事前に予約が必要で、定員があ						
76 30 TK C	条件が整い、今後は事前の予約がなくてまた、本プロジェクトの成果は、文化集めた。2024年11月23日『朝日新聞』動画に 山大・山形市 /山形県」と題さらに、報告者は山形大学Well-Being 良太准教授(医学部)と連携し「地域ア	g研究所の公募研究で本学の佐藤琴教授(基盤教育院)・小林 ーカイブを活用した認知症の非薬物療法に関する研究」を立 を認知症の非薬物療法(回想法)に活用するための活動を開					

実施スケジュール	《スケジュール》 2024年5月25日 申請者とプラットフォーム加盟機関にてプロジェクトにかかる打ち合わせ。 2024年8月27日 旧済生館本館の3・4階を全天球カメラで撮影。 2024年9月27日~29日 山形中心市街地にて実施する「ななはく!2024 ルーナ」でバーチャル見学会を実施。 2024年12月14日 山形市郷土館にてVR動画のお披露目体験会を実施。 2025年2月7日~9日 山形中心市街地にて実施する「ななはく!2025 ソーレ」でバーチャル見学会を実施。								
	合計 96,800				円				
支援金の用途報告	(内訳)	(品名·使途 他)	(数)	×	(単価)	=	(金額)		
	物品費	VRゴーグル	ı	×	96,800	=	96800円		
				×		=	円		
				×		=	円		
				×		=	円		
				×		=	円		
次年度の計画について	VRゴーグルを次年度以降も引き続き山形市郷土館に据え置き、動画の増補や維持管理を協力して行う。特に、今年度作成した動画は夏に撮影したため、次年度は春・秋・冬の動画も作成し、さまざまな季節の様子を体験できるようにする予定である。また、撮影した写真・動画は順次「山形アーカイブ」にも公開する準備も進める。								
本事業へのご意見・要望	本プロジェクトの申請金額は上限が10万円であったため、プロジェクトは金額の範囲内で検討・実施せざるを得なかった。さらなる機能の充実を図れるよう、申請金額を増加や、プロジェクトに応じた柔軟な対応を検討いただきたい。								
活動に関するHPや情報がございました ら、URLの添付をお願いいたします。	「ななはく!」https://cherry.yum-archives.net/nanahaku/ 「山形アーカイブ」https://cherry.yum-archives.net/yamagata-archive/ 『朝日新聞』報道 https://www.asahi.com/articles/ASSCQ4DVTSCQOXIE02LM.html 記者会見情報 https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/press/20241107/01-5/								

## Ⅰ この報告書はA4版表裏Ⅰ枚以内で作成の上、メールに添付して提出してください。

問い合わせ先:山形大学総務部総務課社会共創推進事務室 TEL:023-628-4615 MAIL:yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp